

2016 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [市立札幌大通高等学校] 担当教諭名 [佐藤 千恵子] (異文化理解 40名)

相手国・地域 [タイ]

海外学校名 [Suksasongkro Chiang Mai School] 担当教諭名 [Uraiwan Sritiwong]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	外国語科	異文化理解	32

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	文化の同異点
メッセージ (相手と一緒に 絵に込めた想い)	日本とタイの文化の似ているところ違うところを理解し合ってそれぞれの良さを絵にあらわそう!



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・自文化・異文化理解を深めることができた。 ・協力・協働する力が身についた。 ・情報活用能力が身についた。 ・協働学習を通して絵を完成させたことで達成感を感じた。 ・英語を勉強する大切さを感じた。 ・プレゼンをする力が伸びた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・やり取りが少なく且つ遅く、進度を計画通りに進めることができなかった。 ・フォーラムを活用できなかった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> ・よりいろんな文化を知りたいと思うようになった。 ・交流校の国に対しての知識がついた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に現地声をきくことでよりイメージが湧きやすく、親近感が感じられた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	10月	午前部: 自己紹介+北海道紹介 午後部: 自己紹介+学校紹介 夜間部: 自己紹介+札幌紹介 ビデオレターの形で作成した。	ビデオ撮影を恥ずかしがった生徒もいたが、一生懸命最後まで取り組んだ。	異文化理解
共有 テーマ学習	11月	一人一つ自文化の紹介文を作り、フォーラムにアップし、タイの生徒がそれを見て、タイの文化と比較する。	自文化紹介においては英語翻訳に苦戦したが、タイの生徒から文化比較をした返事を見たときに、その同異点に感動や驚きの感情を見せた。	異文化理解
融合 メッセージ 壁画デザイン	12月	自分が紹介した文化もしくは自分がいいと思った文化を絵にし、それらをまとめて一枚の絵に組み合わせる。	絵を描くのに苦戦する生徒もいたが、それぞれがんばって取り組むことができた。	異文化理解
創造 壁画制作	12月	役割分担をして絵塗をした。	原画制作、下絵、色塗りとそれぞれ自分の得意不得意に合わせた役割を自分から担当し、日本語の部分については書道を習っている生徒が自ら担当すると積極性を見せた。	異文化理解
評価 振り返り 自己評価	3月	自己評価表の記入、感想や Thank you Letter を書いた。	達成感に満ち溢れていた。	異文化理解

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	5	生徒一人ひとりが紹介したい文化を作成したので、調べ学習を通じて自文化への理解を深めたり、情報共有した際に自分の知らない自文化を知ったりする場面が見られた。
異文化の理解	A	5	タイのこと、チェンマイのことについて、タイの生徒の紹介により、知ることができた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	4	タイの生徒の紹介ビデオに対しコメントをしたり、自分の紹介したいことを伝えたり、コミュニケーション力はついたと感じられた。
情報活用能力 (情報収集・発信)	A	5	インターネットで英語翻訳、画像検索、情報収集等に使い、必要情報をキャッチして使用する情報活用能力はかなり身についたと感じられた。
人間関係をつくる (学級内・海外の相手)	B	4	グループで町や学校の紹介をしたり、絵をみんなで協力して描き上げたり、タイの生徒と一人ひとり文化比較の交流をしたり、協力・協働ができたと感じられた。
協働する力 (役割分担・協力)	A	4	自分の得意不得意を理解し、互いに補い合い、原画作成で頑張る生徒、絵塗で頑張る生徒等、それぞれの役割を担っていた。
学習を追究する意欲	A	4	タイの生徒との交流で異文化に対する興味喚起をすることができ、さらに学びを深めていきたいという生徒が多くみられた。
表現力 (伝えたいことを言葉・絵で表す)	A	4	文化紹介においては日本語が難しくても文章を簡潔にすることなく、そのまま英語に翻訳しようと努力した。絵においては自分の得意とする作業を担当した。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	A	4	生徒の自己評価表や感想からたくさんの良い学びができたと感じ取れた。